

店内飲食や対面形式のイベント拡大を

徐々にコロナ以前に

新型コロナが発生してから3年以上が経過し、ようやく行動制限が緩み出が増えてきました。でもまだ人々の行動にはブレーキがかかっています。今後、さくら茶屋では徐々に店内飲食やイベント拡大に取り組んでいきます。



さくらカフェ・コロナ前の食事風景

新型コロナウイルスの扱いが「5類」となつて以降、マスクを外す方が徐々に増え始め、人の往来も増加してきました。ただ感染者数は5類以降も穏やかではありますが増加傾向にあるといわれており、体調の変化には早めの対応が必要となってくるでしょう。

「さくら茶屋」では、今後、コロナは存在するものとして、徐々にコロナ以前の状態に近づける努力を行なっていきます。皆さまのご利用をお待ちします。よろしくお願ひ致します。

「さくら茶屋」では、今後店内飲食の拡大や、イベントなどでも対面形式の催しを増やしていくつもりです。6月からは「さくら食堂」を対面形式に変更、「さくらカフェ」も月曜から木曜日はスタツフを配置し、16時まで喫茶利用ができます。この7月からは「さくら茶屋」での飲食が可能か検討を開始します。



「さくら茶屋物語」出版記念

テーマは「地域活動のこれまでとこれから」

講演は、卯月盛夫先生（早稲田大学教授）。パネラーは、河上牧子さん、林琢己さん、中村泰子さん、岡本溢子さんです。

参加費は無料

西柴小学校児童 / 西柴学童 / 西柴ショッピングセンター / わんぼに 訪問看護 / まちの未来研究会協同企画

西柴・七夕企画に皆さんお越しくたさい

コロナも落ち着いてきたことから、今年の夏はこの3年間出来なかったことに挑戦です。上に書いた方々

が協力し合い「七夕イベント」を企画しました。皆さん商店街に足を運んでいただき一緒に楽しみましょう。

流しソーメンやリマゲル 七夕まつり 西柴児童の喜劇かざり



7月8日(土)

この5月に、西柴3丁目訪問看護事業を開始した「わんぼにー訪問看護」の皆さんが「流しソーメン」が体験

できるイベントを企画してくれました。14時から16時の間「さくらカフェ」で行ないます(健康相談コーナーもあります)。

皆さんの来店を歓迎します。お気軽にお越しくたさい。参加費は100円です。

7月5日(水)

小学生対象の「七夕祭り」です。竹飾りやお楽しみ会を行います。

さくらカフェに15時集合。参加費は200円。詳細及びお申し込みはさくら茶屋ホームページを見てね。

7月1日(土)~9日(日)

西柴小学生児童の皆さんが短冊に「夢や願い」書いてくれました。それを西柴学童の方々の協力で商店街通りに9日間、写真のように(以前の様子)飾ります。皆さん是非見に来てくたさいね。



会食食堂が再開



「さくら食堂」が3年3カ月ぶりに復活しました。6月9日の夕方、まだ準備が整わな

いうちから多くの子ども達が駆けつけ開店を待ってくれていました。

多世代交流の大切な場であった「食堂」がコロナで中断、なんと再開を、と始めたのがテイクアウト方式でした。これが評判を呼び、多い時には150食になることもありました。しかし、「友達と仲間と、そして多世代でテーブルを囲む、食を通しての居場所」という当初の志には至らぬもどかしさがスタッフにはありました。それが今回

「さくら読書会」が始まりました。第一回は、本が大好きという西柴在住の青山さんが中心となり8名の方が集まりました。

みなさん初対面の方ばかり、一人ひとりが自分の心に残った本の話をしました。小学校、中学校時代に読んだ本の話を読んだ方が多く、すごく懐かしかったことと、その時代に本に触れることの大切さを改めて感じました。それと一人ひとりに思い出の本

「や」と復活しました。2年半も続けてきたテイクアウトは助かるとの声も多かったのですが、断腸の思いでしたが、今回それに勝る声をたくさんいただきました。

「や」と来れた！ずっと待ってたよ！」という子どもたち。「子ども達が、なんか生き生きと輝いてくれました」、子ども達だけで支払いや、アイスや駄菓子を買えるのはとっても貴重な経験ができる」、高齢の方からは「元気なエネルギーをもたらした」の声など・・・。

この6月から「さくら食堂」は会食形式に変更して開催していきます。今後の運営などについて、ご意見やご要望があればお寄せ下さい。

皆さま揃ってのご来店をお待ちしています。

があり、その話にそれぞれに共感できるという集いでした。

第一回目でも

あり、今後の進め方を相談、テーマを決めて読んだ本の感想披露会なども検討することになりました。

次回のテーマは「夏を感じる本」です。どんな本を皆さんが選択するのか楽しみます。皆さんも是非ご参加ください。



初の読書会

7月開催のイベント

【さくら食堂】 7月14日(金)と28日(金)

カレー, サラダ, デザート。17時から19時にお越し下さい。料金は300円、高校生以下100円、幼児無料。

【歌の集い】 7月19日(水) 14:00 ~ 15:30

さくらカフェにお越しください。ズームでの参加も可能ですのでメールアドレスをお知らせ下さい。

【麻雀スクール】 7月14日(金)と25日(火)

9:30 ~ 11:30 さくらカフェで行ないます。参加費は300円で、事前申込みとなっております。

【さくら読書会】 7月27日(木) 14:30 ~

6月から開始しました。参加費はドリンク・お菓子付きで300円です。読書好きの方、お待ちしております。

【俳句・句会】 7月21日(金) 14:30 ~ 16:00

参加ご希望の方は事前に詠んだ句を3句提出していただきます(回収箱はさくらカフェにあります)。

【ポールウォーキング】 毎週土曜の夕方実施

7月からは集合が夕方17時半に変わります。ポールは貸出無料。さくら茶屋店先にお越し下さい。

【げんきライフ】 毎週月曜と木曜の午前中

横浜市から委託を受けた介護予防・支援事業です。毎回様々なプログラムを企画し楽しんでいます。

認知症予防カフェ(オレンジデー)は 7月9日(日) 10:00開始です

【さくら体操】 7月7日(金) 10:00 ~ 11:30

参加費は200円、西柴団地自治会館で行ないますので、お気軽な服装でお出かけください。

【折り紙教室】 8月2日(水) 10:00 ~ 11:30

隔月開催のため、7月はお休みです。材料費のみ各人となります。6月は小物入れと傘を折りました。

【まちの未来研究会】 7月1日(土) 15:00 ~

ズームによるミーティングです。参加してみようとお考えの方は「さくら茶屋」までお知らせ下さい。

【とことこ・さくらキッズ】 7月18日(火) 10:00 ~

子育て支援拠点「とことこ」とコラボしてのキッズです。自由参加ですのでお気軽にご参加ください。

【凸凹の会】 7月1日(土) 14:00 ~

子どもの成長などについての交流、話し合いです。お問い合わせは dekokonokai@gmail.comへ。



さくら茶屋にししば第13回総会報告

継続運営に努めます

この6月11日に「さくら茶屋にししば」は通常総会を開催し、一年間の活動を振り返り、今後一年の計画を決めました。私たちを支えていただく皆さま方に、簡単ではありますが事業報告と計画の概要、収支状況などをお知らせ致します。



2022年度の事業報告です

2022年度はコロナ感染の第6波の出口がみえてきたという状況下で始まりました。さくら茶屋ではこれを機にそれまでの制限をゆるめカフェでの飲食利用を始めています。しかし、その後夏場から感染者数が急激に増加しはじめ、第7波、第8波と年度未近くまで感染の波が襲い続けたことから、店内での飲食拡大にはつながらず、テイクアウト販売が中心とならざるを得ない営業となりました。そうした状況ではありましたが、お弁当の販売は昨年並みと好調で、惣菜関連の販売では過去最高の販売数となるなど、テイクアウトの販売が一層定着化した一年でした。

イベント関連では対面による開催拡大を重視しました。西柴夜話を昼間帯に移して昼話として開始したり、感染対策を実施して麻雀スクールを再開、ズーム開催だった「歌の集い」を対面形式と併用型にして開催するなど、行動制限がある中でも工夫を凝らして開催項目を増やしています。他団体と連携した「キミロク・すごろくゲーム」、バスツアー、ペンパル活動などは今期新たにチャレンジした取り組みでした。

今後、コロナ禍以前の状態に戻すためには、ボランティア体制の再構築など多くの課題があります。地域の方々のご支援も仰ぎながら改善していく必要があります。



2023年度の活動計画です

新年度は、コロナ感染も幾分落ち着き、マスクは個人判断、感染法上の位置づけは「5類」になるなど、世間的にもいろいろな活動が再開されつつあります。ただ国民の行動にはまだブレーキがかかっており、元の戻るにはまだ時間がかかります。ウィズコロナ下での活動展開、地域住民の結び付き強化に欠かせない対面での活動促進に今後努力していきます。その視点で下記の課題を引き続き追求していきます。

活動継続のための多くの協力者の獲得 多世代が集結・交流する運営と企画力の向上 地域のニーズ確認と参加者も一緒に参画型の活動を追求 次世代の後継者育成 他団体との協働・連携 各種団体との「居場所づくり・街づくり」の協力 区内や市内のネットワークとの連携などに取り組んでいきます。3年間のコロナ禍で活動が縮小し、以前の状態への復活には課題も多いですが、「街も人も元気」にするため新たなボランティアの加入にも力を入れ息の長い活動をめざします。

総会は委任を含め50名の参加（定数68、参加22、委任28）で成立し、「22年度事業報告・活動計算書・監査報告」と「23年度事業計画・収支予算書」の議題すべてが満場一致で承認されました。コロナ禍でいろいろな制約があったものの、「まちの元気」は地域住民の交流、支え合いの力から生み出されるのがこのコロナ禍を経てよりあらわになったことが確認されました。今後とも色々な事態の変化にも対応しながら継続運営に努めていきます。これからも皆さんのご協力ご支援をよろしくお願い致します。

「さくら茶屋」の収支状況（概要）と、新たに選出された役員（2年任期）を紹介致します。

< 2022年度と2021年度の収支比較 >

22年度事業の収支は、昨年度のような修繕費や「コロナ禍における手当」などの大きな支出もなく、また営業面でもテイクアウト販売が好調だったこともあり、一年でプラスに転じています。

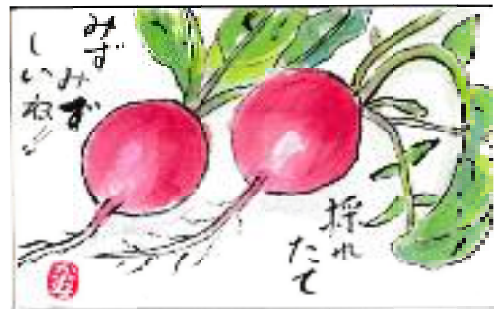
	22年度収支	21年度収支
経常収益		(単位:円)
賛助会員受取会費	451,000	502,000
受取寄附金	519,885	475,500
受取助成金等	2,076,192	2,196,000
事業収入	9,458,501	8,343,001
その他の収入	1,405	144,150
収入合計	12,506,983	11,660,651
経常費用		
仕入れ費	4,763,239	4,152,020
地代家賃	2,457,000	2,288,000
ボランティア謝金	1,106,600	2,801,400
福利厚生費	517,700	72,835
修繕費	125,400	1,606,000
消耗品費	1,151,296	854,411
その他の費用	1,544,789	1,413,082
費用合計	11,656,004	13,157,728
当期経常増減額	850,979	-1,507,077

< 「さくら茶屋にししば」役員 >

(理事12名)	< 第十三期 新役員紹介 >	
岡本澄子 理事長	岡本龍子 理事	福田脩三 理事
炭竈美枝 理事長代行	崎原美佐緒 理事	松尾尚子 理事
平林美玲 副理事長	炭竈征夫 理事	(監事2名)
阿部茂男 事務局長	瀬川常子 理事	梅木隆史 監事
飯田益美 理事	広瀬洋外 理事	鈴木ふき子 監事



「彩の会」の中で一番の年配者の私が、
 絵手紙の楽しさを先輩たちに沢山教えて
 頂きいつも感謝しています。
 その絵手紙を友人に出してアドバイス
 を頂き参考にさせて頂いています。
 上手に描こうと意識したものより、飾
 らないものの方が味わい深い絵手紙にな
 るような気がしてきました。
 これからも日々の生活の中で、筆を持
 つ時間を続けたいと思っています。
 早川 和子



さくら句会

6月に行われた句会から、選ばれた3句を紹介します。

- 名人位攫さら心一十歳の青葉風 眞青
- 初きゆつり試食したるはカラスかな 佐久良
- 梅雨の蝶女子高生のよく笑う 竹仙

金沢区のご当地かるたです



定価1600円(消費税込み)読み札46枚、絵札46枚
 制作・発行・運営:「カナがる」企画・運営チーム
 お問い合わせ: kanazawaku.karuta@gmail.com

さくら茶屋でも販売してまます

「カナがる」企画・運営チームの方々がクラウドファンディングを活用し、金沢区の企業や団体など多くの方々のご協力を得て作成、仕上げた『金沢区の魅力がぎゅーっと詰め込まれたご当地かるた』です。今年の5月にお披露目されたばかりのほやほや。是非みなでご利用ください。

差し上げます

「さくら茶屋」ホームページ・よもやま話(京急の記事)をお読みいただきありがとうございます。お礼に私の収集した記念乗車券をご希望の方に一人一枚ずつ差し上げます。(業者の方や未就学児、及び転売などはご遠慮ください) 梅木隆史 さくら茶屋まで お問い合わせ下さい

